

2017 年度

留学セミナー報告書

実習先 ウラジオストク国立経済大学

実習期間：8 月 29 日（火）～12 月 28 日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016004
阿部里乃

目次

1 研修先及び実習期間	3
2 研修先概要	3
3 研修目的	3
4 研修内容	4
4-1 研修のスケジュール	4
4-2 研修の詳細	7
5 当初目的・目標への達成度	9
6 反省・課題	9

謝辞

付録

毎週の授業、コースの詳細な記録

1 研修先及び実習期間

研修先：ウラジオストク国立経済大学

研修期間：平成 29 年 8 月 29 日（火）～平成 29 年 12 月 28 日（木）

※12 月 28 日（木）に帰国

2 研修先概要

(1) 大学について

ウラジオストク国立経済大学は 1987 年に開学した。中央キャンパスはウラジオストクの市内中心部に位置している。8 つの学部を擁し、学生数は 1 万 5000 人を数え、学士課程は 4 年間である。法科大学院、修士課程、博士課程に進学し、さらに高度な専門教育を受けることもできる。学内には複合スポーツ施設（屋内プールとトレーニング体育館）と芸術スタジオシアターがある。また、屋内温室庭園や学生用のカフェ・食堂がある。大学専用の学生寮は 1200 名収容で、ロシア国内出身の学生と外国人留学生が居住している。

また、ウラジオストク国立経済大学は、ウラジオストクにおける最高水準の教育機関のひとつであり、ロシア連邦教育省からいくつもの賞を受けている。ロシア国内全体の大学格付けでは 550 大学中の 63 位であり、サービス業の専門家を養成する大学の格付けでは全国 1 位である。

(2) 大学で行われている教育について

ウラジオストク国立経済大学は諸外国の大学と提携している（アメリカ、日本、中国、韓国、ニュージーランド、オランダ、スペイン、ブルガリア、イタリア）。また、アメリカ、ニュージーランド、中国の複数の大学と連携し、卒業時に 2 つの大学から同時に学士学位を取得できる共同学位（ダブルディグリー）プログラムを実施している。

3 研修目的

今回の研修の目的はロシア語を上達させることである。ロシア語に限らず言語を上達させるためには自身の努力が最も重要であるが、言語を学ぶ環境も重要であると考えた。残念なことに日本ではネイティブなロシア語に触れる機会がとても少ない。そこでロシアの大学に留学し実際に現地で生活することで日本にいる時よりもロシア語に触れる機会が格段に増え、語学力の向上が見込めると考えた。

4 研修内容

4 - 1 研修のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後	
8	29 (火)		到着及び入寮	
	30 (水)	オリエンテーション (大学案内)	買い物	
	31 (木)	学生証作り・健康診断	先生と中心街の散策	
9	1 (金)			
	2 (土)			
	3 (日)			
	4 (月)	クラス分けテスト	クラス発表	
	5 (火)	授業開始		
	6 (水)			
	7 (木)			
	8 (金)			
	9 (土)		国際映画祭	
	10 (日)			
	11 (月)			
	12 (火)		食の祭り	
	13 (水)			
	14 (木)			
	15 (金)			
	16 (土)			
	17 (日)			
	18 (月)			
	19 (火)			
	20 (水)			
	21 (木)	留学生オリエンテーション		
	22 (金)			
	23 (土)			
	24 (日)	虎祭り		
	25 (月)			
	26 (火)			
	27 (水)		先生と散歩	

	28 (木)		
	29 (金)		
	30 (土)		
10	1 (日)		
	2 (月)		
	3 (火)		
	4 (水)		
	5 (木)		
	6 (金)	サファリパーク	
	7 (土)		
	8 (日)		
	9 (月)		
	10 (火)		
	11 (水)		
	12 (木)		
	13 (金)		
	14 (土)		
	15 (日)		
	16 (月)		
	17 (火)		
	18 (水)		
	19 (木)		
	20 (金)		
	21 (土)		
	22 (日)		
	23 (月)		
	24 (火)		
25 (水)			
26 (木)			
27 (金)	スポーツ大会		
	28 (土)		
	29 (日)		
	30 (月)		
	31 (火)		
11	1 (水)		

	2 (木)		
	3 (金)		
	4 (土)		
	5 (日)		
	6 (月)		
	7 (火)		
	8 (水)		
	9 (木)		
	10 (金)		
	11 (土)		
	12 (日)		
	13 (月)		
	14 (火)		
	15 (水)		
	16 (木)		
	17 (金)		初雪
	18 (土)		
	19 (日)		
	20 (月)		
	21 (火)		
	22 (水)		
	23 (木)		
	24 (金)		
	25 (土)		
	26 (日)		
	27 (月)		
	28 (火)		
	29 (水)		
	30 (木)		
12	1 (金)		ロシア料理作り
	2 (土)		
	3 (日)		
	4 (月)		
	5 (火)		
	6 (水)		

7 (木)		
8 (金)		
9 (土)		
10 (日)		
11 (月)		
12 (火)		
13 (水)	スケート	
14 (木)		
15 (金)		
16 (土)		
17 (日)		バレエ鑑賞 (白鳥の湖)
18 (月)		
19 (火)		
20 (水)		
21 (木)		
22 (金)		
23 (土)		
24 (日)		
25 (月)		
26 (火)	お茶会・成績授与	地理テスト
27 (水)	美術館	退寮の準備 (部屋の片づけなど)
28 (木)	退寮	帰国

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載されている各項目の内容は以下のとおりである。

●オリエンテーション (大学案内)

大学内の案内や銀行で両替の仕方などを教わった。その後寮に戻り部屋の家具などに不備が無いか点検をした。

●学生証作り・健康診断など

学生証を作るために書類の記入や写真撮影をした。大学内の病院へ行きレントゲンや心音検査などを行った。

●クラス分けテスト

能力別にクラス分けをするためのテストを受けた。筆記だけでなくコンピューターを使い文法問題や長文読解問題もあった。

●国際映画祭

世界各国から有名な俳優や女優が集まっていた。たくさんのメディアや人々が集まり大変にぎやかなイベントだった。

●食の祭り

中心街の広場で開かれた巨大な市。野菜、果物、肉、魚、乳製品などがたくさん売られており、試食もできた。特設ステージでは子供たちがダンスや歌を披露していた。

●留学生オリエンテーション

留学生たちの交流を深めるためのイベント。電車で海岸付近の公園間で移動し、そこで様々な国の留学生たちとゲームなどを楽しんだ。

●虎祭り

虎の保護活動を広めるため、顔に虎をイメージしたペイントや旗を持ち中心街でパレードを行うイベント。老若男女問わず大勢の人々が参加し、とても盛り上がった

●サファリパーク

山奥にあるサファリパークに行きロシアに生息する様々な動物を見た。かなり近くで動物を見ることができ、餌を与えることもできた。

●スポーツ大会

B Γ Υ Θ C で行われたスポーツ大会。B Γ Υ Θ C の生徒だけでなく留学生も参加することが可能だった。日本人留学生は大会に参加せず、客席で応援をした。

●ロシア料理作り

スヴェトラーナ先生たちと一緒にロシア料理（スープ、サラダ、パンケーキ）をそれぞれ分担して作った。完成後は韓国人留学生も招き一緒に料理を食べた。

●スケート

韓国人留学生やロシア人のボランティアと一緒に山奥にある自然公園へ行きスケートを楽しんだ。屋外にスケート場があるため少し寒かったが、とても楽しかった。

●バレエ鑑賞（白鳥の湖）

劇場へ行き白鳥の湖を鑑賞した。劇場でバレエを見ることは初めてだった為とても新鮮だった。本場のバレエを鑑賞できる機会はなかなかない為、とても貴重な体験ができた。

5 当初目的・目標への達成度

今回の目的はロシア語の上達であったがロシアに行く前と比べて、ロシア語を聞き取れるようになり、質問に対して時間は掛かっても以前よりも答えることができるようになった。しかし、まだまだ語学力は足りないように感じる。まずは留学で学んだことを忘れないよう今まで以上に自主学習に取り組むとともに、理解できなかった文法表現や単語をマスターすることが必要である。

6 反省・課題

反省点は自身の語学力に自信が無かった為、授業中は積極的に発言することができなかったことと、毎日の課題で手一杯になり自主学習の時間をあまりとれなかったことである。これは留学前の学習が不十分であったからである。留学前にテキストを熟読するなどして、もっと文法や単語を覚えておくべきだったと反省した。

謝辞

この度、留学を受け入れて下さったウラジオストク国立経済大学の方々や寮生活を支え指導して下さったユリア先生、スヴェトラーナ先生、ボランティアのヴェロニカさん、ナージャさん、アレクセイさん、その他関係者の皆様に深くお礼申し上げます。またロシア語の指導や留学をサポートして下さった神長英輔先生、アレクサンドル・プラーソル先生に心より感謝いたします。

最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により今回の留学が実現し、貴重な経験ができたことを心から感謝いたします。

付録 毎週の授業、コースの詳細な記録

以下の授業表をもとに毎週の授業の詳細について述べていく

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限目	ロシア語 (文法)	ロシア語 (会話)	ロシア語 (聞き取り)	ロシア語 (読み)	ロシア語 (聞き取り)
2 限目	ロシア語 (話法)	ロシア語 (読み)	ロシア語 (話法)	ロシア語 (文法)	ロシア語 (文法)
休み時間 (90 分)					
3 限目	美術	音楽	歴史	地理	

●ロシア語 (文法)

教科書の問題を解きながらロシア語の文法を学ぶ授業。週に3回あった。NUISのロシア語の授業で学んだ文法表現も多かったが、知らない用法もあった。

ロシア語で説明を受けるため理解することが難しいこともあったが、先生は理解できるまで説明して下さったので問題は無かった。

●ロシア語（話法）

日常会話で使う表現（挨拶、道案内の仕方、買い物の仕方など）や単語を学んだ。基本は教科書を使用して授業を進めるが、単語が書かれたカードを使うことがあった。

自分の住んでいる町の紹介や理想の部屋など、パワーポイントを用いて発表することもあった。

●ロシア語（会話）

ペアを組んで教科書の例文を読み、それを用いて会話文を作ることが多かった。

この授業もパワーポイントを用いて発表することが何度かあった。

●ロシア語（読み）

教科書にあるロシア語の長文を読み進めながら授業をおこなう。教科書の長文を音読した後、先生からの質問や教科書に載っている問題に口頭で答える。単語テストが何度かあり、単語を用いて自分で文を考える課題が頻繁に出て少し大変だった。

●ロシア語（聞き取り）

教科書は無く、毎回プリントが配布される。CDを聞き音声を繰り返したり、正しい単語を書いたりする練習を行った。ほぼ毎回前回の授業で学んだ単語のミニテストが行われた。

●芸術

ほぼ毎回ロシアに関する絵（虎やマトリョーシカなど）を描いたり、ロシアに古くから伝わるホフロマ塗りやグジェリなどを実際に体験するなどして、楽しくロシアの芸術文化を学んだ。

●音楽

ロシア語の歌を歌ったり、ロシアの楽器を実際に使って演奏するなどしてロシア音楽を学んだ。ロシア語の歌を歌うだけでなくその歌詞の意味を調べることもあった。映像を見ることが多く、オペラやバレエ、ロシアの楽器を使って演奏している動画を見た。

●歴史

ロシアが国として成立していない時代から始まり、その時代を支配していた皇帝や出来事について学んだ。

パワーポイントで画像を見ながら授業を進めていたが、知らない人物や出来事が多かった。授業の内容は少し難しく、理解しにくい部分があったが先生がとても丁寧に説明してくださったため問題はなかった。

毎回プリントが配布されたため、予習、復習がしやすかった。

●地理 授業内容はウラジオストクがあるロシア極東部に関することが中心であり、ロシアの地理や気候、ロシアに生息する動物、鉱物や資源などについて学んだ。何度か中間テストが行われた。覚えることが多かったが授業の内容は充実していて興味深かった。